

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期	前期	教室名	702教室
担 当 教 員	林 亜遊				
実務経験と その関連資格	実践:作業療法士として精神科病院に5年間勤務。統合失調症や気分障害患者の精神科リハビリテーションに従事。地域における作業療法を15年以上にわたって実践。 資格:認定作業療法士、教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。 学会:日本作業療法士協会・世界作業療法連盟・日本医学教育学会・日本作業療法教育学会会員 役員:作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事				
《授業科目における学習内容》					
リハビリテーションの歴史及び病気や障害の概念を学ぶ。 リハビリテーションの機能を学ぶ。 リハビリテーションの方向性を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験60% レポート40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
言語聴覚士テキスト第3版					
《授業外における学習方法》					
毎回の講義資料のファイリングと重要なポイントをまとめておくこと。					
《履修に当たっての留意点》					
リハビリテーションの歴史を学ぶことは、未来のリハビリテーション像を描く上で重要です。医学の歴史も踏まえてその枠組みを理解してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの歴史と定義を理解する。	資料(プリント)	ディベックスジャパンで気になった動画の一つみて、障害の主観的側面について考えてくる。	
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念・歴史の理解。			
第2回	授業を通じての到達目標	病気の定義、障害の定義を理解する。	資料(プリント)	病院における言語聴覚士の実践について調べてくる。	
	各コマにおける授業予定	障害者心理・精神面への支援・ディベックスジャパン。			
第3回	授業を通じての到達目標	医学的リハビリテーションの内容を理解する。	資料(プリント)	自分の担当職種の情報を読んできて、簡単に説明できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	病院におけるリハビリテーションを考える。			
第4回	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類を理解する	資料(プリント)	自分の担当職種の情報を読んできて、簡単に説明できるようにしておく。	
	各コマにおける授業予定	ICFを理解する-専門家による分類。			
第5回	授業を通じての到達目標	国際生活機能分類の整理の仕方を経験する。	資料(プリント)	地域使える資源(制度など)について調べておく。	
	各コマにおける授業予定	ICFによる分類-専門家チームによる分類。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	地域リハビリテーションの意義と言語聴覚士の関わりを理解する。	資料(プリント)	特別支援学校などについて調べておく。
	各コマにおける授業予定	地域生活を支援する。		
第 7 回	授業を通じての到達目標	教育的リハビリテーションの歴史と考え方を理解する	資料(プリント)	障害者の就業支援などについて調べておく。
	各コマにおける授業予定	発達障害に対する支援を考える。		
第 8 回	授業を通じての到達目標	職業的リハビリテーションの歴史と考え方を理解する。	資料(プリント)	定期試験に向けて総復習しておく。
	各コマにおける授業予定	復職支援について考える。		
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			